



お客さま第一・ 現地現物を徹底し 未来のクルマづくりに まい進いたします

当期における自動車業界は一部の新興市場において回復の兆しが見えるものの、日本や欧米などの既存市場では引き続き世界的な経済危機の影響が残りました。連結ベースでは赤字脱却を果たしましたが、業績の本格回復には至らず、株主・投資家の皆さまはじめ、お客さま、取引先の皆さま、地域社会などすべてのステークホルダーの皆さまにご心配をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。昨年6月よりマネジメントの新体制がスタートし、グループ全体の業績回復と体質改善に努めておりますが、トヨタが創業以来大切にしてきたものづくり・クルマづくりの精神に立ち返り、次なる一步を踏み出すための足固めをしてまいります。

「トヨタの創業理念」の再確認と徹底

自動車業界はグローバルレベルで競争が激化しておりますが、お客さまが求める価値観とニーズに的確に対応した革新的で価格競争力のある商品が求められております。さらに環境対応は、国際社会からより一層厳しい目で評価されることが予想されます。

70年にわたるトヨタの歴史を振り返ると、不況、自動車の貿易自由化、公害問題やオイルショックと、繰り返し大きな環境変化を経験し、その都度「社会に役立つ」という創業理念を強く意識し、謙虚に学び進化を遂げてまいりました。現在の苦境もその理念の再認識と、成長の原点である「良品廉価」のための「お客さま第一主義」「現地現物」「知恵と改善」の徹底によって乗り越えられるものと確信しております。

自動車の新たな未来を切り拓くために

自動車産業は「地球環境への貢献」という新たなステージへと踏み出しています。トヨタもこれまでに培った環境技術を活かし、未来のクルマづくりに、より一層まい進いたします。そしてその原動力となる、お客さま、販売店、サプライヤーの皆さまとの結束を固め、新たなクルマの未来を切り拓くべく取り組みを強化してまいります。

ステークホルダーの皆さまには、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2010年7月

取締役会長 張 富士夫